＜本資料をご覧の皆さまへのお願い＞

本PDFは、2024年11月9日に株式会社COMPASSが開催したオンラインイベント
「個別最適な学びの環境の実現に向けて」においてにおいて
ゲストの渋谷区教育委員会様、Inspire High様、およびCOMPASSより
発表した資料です。
※記載の情報はイベント開催時点のものであり、変更となることがございます。

イベント参加者の皆様との情報共有のために展開させていただいているものですので、
資料・資料内の情報の無断転載はご遠慮ください。

また、本セッションの様子はキュビナ公式Youtubeチャンネルに公開しています。
ぜひご覧ください。
https://youtu.be/bW5vrmNUsBY

個別最適な学びの
環境の実現に向けて

SESSION4　自治体・事業者パネルディスカッション

探究学習を通じた学びの環境のアップデート



渋谷区教育委員会事務局
教育指導課 統括指導主事

松村 信之介 氏



株式会社Inspire High
Marketing Manager

溝口 りりか 氏



株式会社COMPASS
取締役CLO
（Chief Learning Officer）

木川 俊哉



学びを変える　探究「シブヤ未来科」

241109_個別最適な学びの環境の実現に向けて
～教科学習と探究学習の一体的な充実を語る～

渋谷区教育委員会事務局教育指導課

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

説明の内容

１　渋谷区の概要

２　渋谷区が目指す教育　　～子ども像・教師像～

３　シブヤ「未来の学校」～ハード・ソフトの両面から～

４　今後の展望

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

渋谷区の概要

面積：15.11㎢（23区中15位）
人口：231,499人（令和6年4月1日現在）
学校数：小学校18校　中学校8校
児童数：7,556人、生徒数:2,003人（令和6年4月1日現在）
財政規模：1,223億（令和6年度一般会計当初予算）


代々木駅


原宿：竹下通り


渋谷駅


代々木公園


恵比寿：恵比寿ガーデンプレイス

巣鴨
大塚
池袋
Ikebukuro
目白
高田馬場
新大久保
新宿
Shinjuku
代々木
原宿
渋谷
Shibuya
恵比寿
目黒
五反田
大崎
品川
Shinagawa
高輪ゲー
新橋
浜松町
田町
有楽町
東京
Tōkyō
神田
秋葉原
御徒町
山手線
Yamanote Line

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

渋谷区教育大綱

渋谷区

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

つくろう。
ちがいを活かし合える、
未来の学校。

一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じる。
私たちが未来に向けて、いちばん大事にすることです。

自ら学ぶ力は、一人ひとりちがいます。
一人ひとりちがう、学ぶペース。
一人ひとりちがう、興味の行き先。
一人ひとりちがう、チームでの役割。

そんな子どもたちの力を信じて、
先生たちが応援し、並んで走る。
子どもたち、先生たち、地域が、一緒になってつくりあげる。
それが、私たちが考える未来の学校です。

キソは、キソわず、しっかり身につける。
そのあとも、一人ひとりのペースと興味の行き先次第。

自分にはないモノの見方、自分にはない力を、
教え合って、補い合って、学び合う。
そう、ちがいがあるから、チームの中で活かし合える。
先生だって、子どもと一緒に、学ぶことにワクワクしよう。

使う道具にも、決まりなんてない。
校舎だけでなく、毎日に、この世界のあちこちに、
ちりばめられているヒント。
自由に見つけて、おもしろがろう。
家族や地域の人たちとも、一緒に学ぶ仲間になりたい。

さあ、つくろう。探究しよう。挑戦しよう。
自ら学ぶ力を信じた時。
一人ひとりの心の中で、未来の学校が始まります。

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

未来の学校で大切にする、7つの力。

～ 子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために ～

- 基礎：全ての学びの土台となる、各教科の基礎的な力
- 共感：相手と同じところを見つけて共感し、違うところにも相手の立場になって共感できる
- 協働：個性を活かし合い、話し合いながらチームワークを進める
- 探究：どんな興味も大切にして、問いを見つけ、調べる、追いかける
- 自律：必要なルールについて話し合い、必要なルールを自ら作っていく
- 挑戦：やったことのないことをやってみる自分、友達を、讃えあう
- 創造：変えてみる。組み合わせてみる。おもしろい、を大切にする

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

区立広尾中学校



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

区立広尾中学校



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

区立代々木中学校



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

区立代々木中学校







Copyright SHIGERU BAN ARCHITECTS All rights reserved

Technology

最新EdTechコンテンツによる
基礎学力の確実な定着と
自発的な探究・対話を促す学び

AI型英会話教材

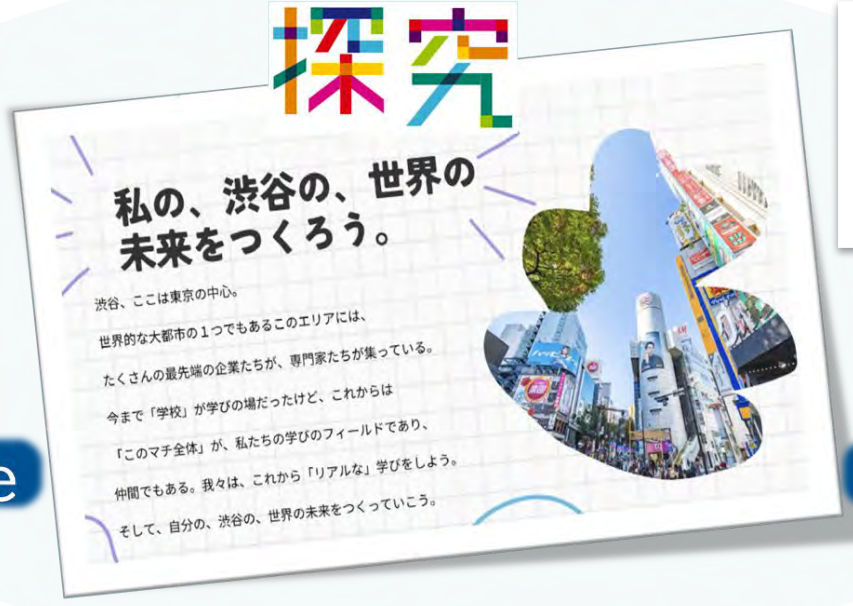


AI型ドリル教材

探究コンテンツ



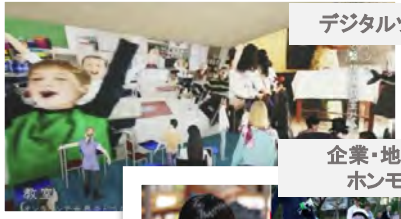
渋谷をフィールドにリアルな学び



Experience

企業・地域 × テクノロジーにより
実社会のたくさんのホンモノと
出会う、ふれる、ワクワク体験を創出

デジタルツイン



企業・地域による
ホンモノ体験



Creative space

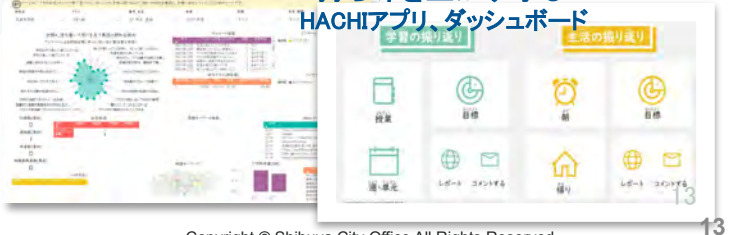
探究に没頭し、知的好奇心を引き出し
夢中になる空間
ラーニング・コモンズ、STEAM Lab





Data driven

教育データを利活用して、自己調整力や
自己肯定感を高め、一人一人の良さや
持ち味を生かす学び
HACHIアプリ、ダッシュボード



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.









探究「シブヤ未来科」

ーシブヤの街と
教育環境を
最大限活用する学びー



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

探究「シブヤ未来科」の時間とは？



・令和6年度から、
区立全学校でスタート！

・原則、午後の時間を
探究「シブヤ未来科」に設定

・学びを より主体的・探究的 に、
より対話的・協働的 に

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

「シブヤ科」のスタート

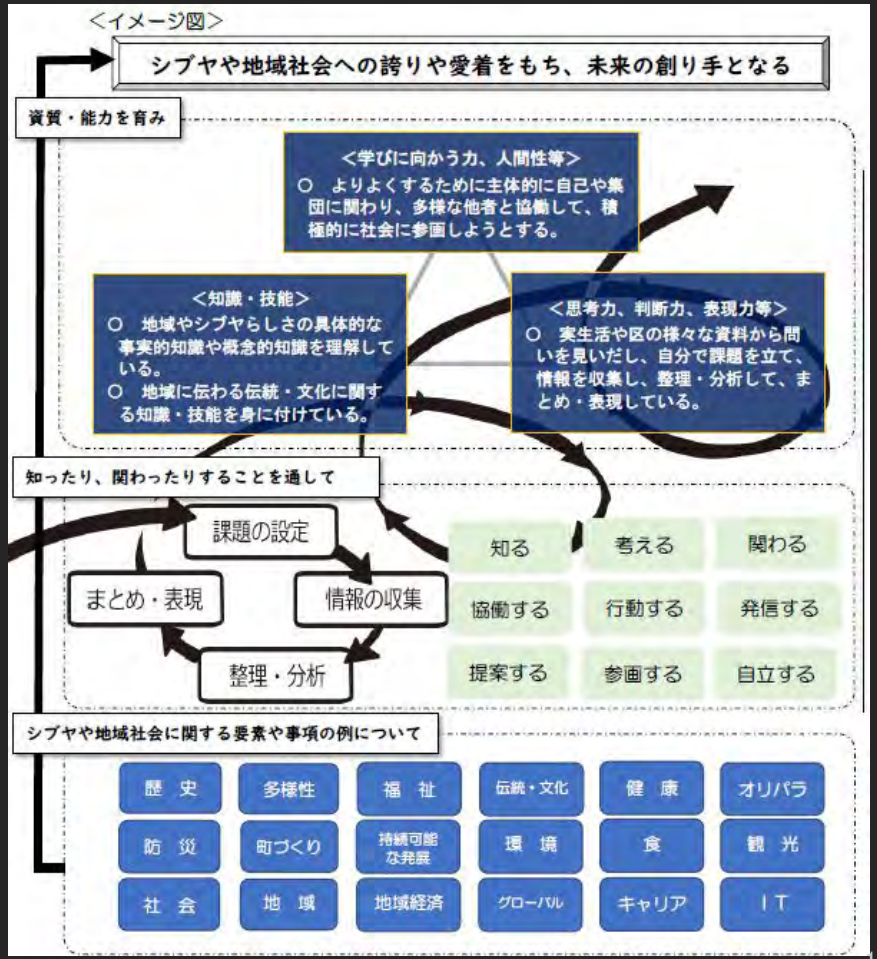
ー令和４年度からー

○　自分たちが生活する地域や**渋谷区への興味・関心**をもち、歴史や伝統・文化、地域の特色等に対する理解を深める。

○　地域や渋谷区への誇りや愛着、**プライド**を育むとともに、多様な人々と協働しながら主体的に地域社会に参画する未来の渋谷区の創り手となる人材、知の創出をもたらすことができる**創造性豊かな人材の育成**を目指す。

「シブヤ科」で対象とする学習材料

・自分の生活する地域や学校、渋谷区の歴史（今昔）
・食に関わる問題　・若者・ファッション文化
・まちづくり ・シブヤのハロウィーン
・地域や渋谷区の防災　・福祉に関わる取組
・多様性のある社会 ・東京 2020 大会後のレガシー
・地域社会や渋谷区の持続的な発展
・地域に継承されている伝統・文化
・地域に伝わる地域行事
・シブヤの特徴的な企業 ・ SDGs とシブヤ・地域
・地域の商店街　・渋谷３ S と健康な生活 等



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

なぜ「シブヤ未来科」がスタートしたの？



現在はVUCA（ブーカ）の時代と言われているんだ。VUCAとは、Volatility（変動性・不安定さ）、Uncertainty（不確実性・不確定さ）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性・不明瞭さ）という4つの言葉の頭文字をとった造語。そんな、変化が激しく予測が困難な時代において大切なのは「自ら解をつくりだせる」こと！学校も、知的好奇心を持った自律した学習者が活躍できる時代に合わせた教育が求められるね。

世界の動向はどうなってる？ 必要なスキルって？



世界最大のシンクタンクとも呼ばれているOECD（経済協力開発機構）でも、これからの時代は、次の3つを身につけていくことが大切だと言われているよ。

1. 新たな価値を創造する力
2. 対立やジレンマを克服する力
3. 責任ある行動をとる力

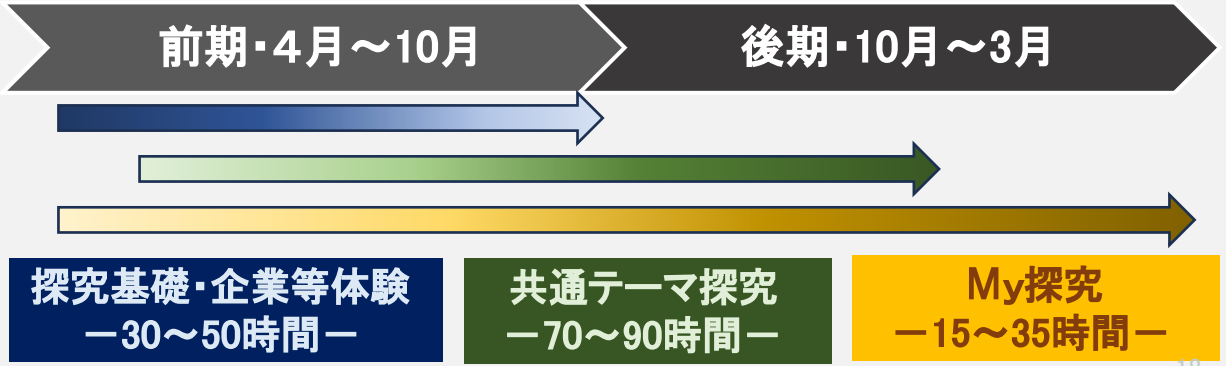
特に、①の力を引き出すためには、学校教育の質的転換が求められている。そこで鍵となるのが「探究学習」なんだ！「みんな一緒に、同じペースで、同じことを」は過去の教育システム！
これからの時代は自律した個が多様な他者と協働して新たな価値を創造していくことがとても重要に！
すべての子どもの可能性を最大限引き出す教育へ！

探究「シブヤ未来科」の挑戦
－大胆な教育課程－

学校の１日

	月 ～ 金
午前 1～4校時	教科を中心とした授業 国語、社会、算数・数学、理科など
午後 5～6校時	探究「シブヤ未来科」の時間 － 子ども主体の学び － 総合的な学習の時間 、各教科の一部等（探究型の教科単元）

探究の１年



※文部科学省「授業時数特例校制度」を活用　総合的な学習の時間が70時間　→　155時間（小学校6年）

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.











- 企業等による体験 -

ホンモノ体験が子供一人ひとりの「やってみたい！」を引き出す

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

地域の人材・企業を活用

千駄谷小×株式会社 giraffe











学校ＯＢ・ＯＧを活用

神宮前小×丸山 敬太（ファッションデザイナー）









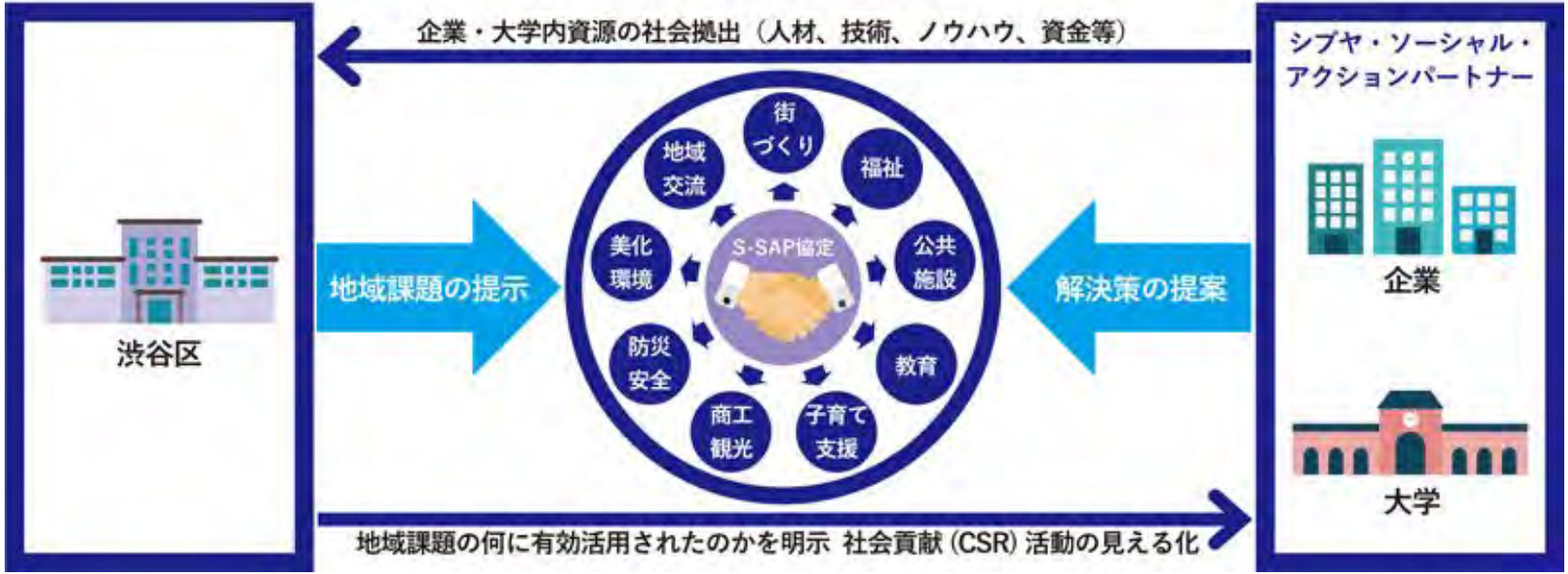
官民連携協定を活用した事例
笹塚小　×　GMO 株式会社





「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」

S-SAP
Shibuya City Social Action Partner



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

企業等から提案（申出）を活用した事例
加計塚小・笹塚小×日本総研　株式会社





企業等と連携した授業を通して、子供たちは課題を設定する力、情報を収集する力、情報を整理・分析する力、まとめ表現する力の基礎を身に付けています。

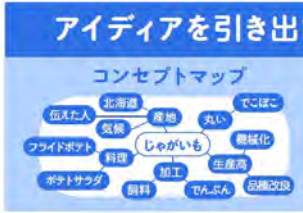


探究基礎　－調べ活動に留まらない 学び－

各教科の見方・考え方、知識・技能

アイディアを引き出す

コンセプトマップ





課題を設定し探究方法を決める

問	最初に浮かんだ問い	
目的	何をどこまで明らかにしたいのか？	
方法	どのような方法で明らかにするのか？	

進行を管理する

ガントチャート



ToDoリスト



情報を収集する

アンケート
- 読み手によって解釈が異ならないよう明確に表現する
- あらかじめ分析方法を考えて、それに役立つ質問をする
- 予備調査を行って分析まで行い、修正して本番に臨む

インタビュー
- インタビューの目的を伝える
- 録音・録画の許可を得る
- 質問文を用意し、読み上げて質問する
- 相手の話によって、質問を追加する



各種資料
- 一次情報にあたる（引用の引用をしない）
- 出典を記録する
- 写真・キャプチャー、筆記等で原本を再現できるようにする
- 引用と自分の考えを区別して記録する

実験観察
- 理科で学んだことを参考にする

発表する

探究プロセスのどの段階かによって、発表の目的は異なり、適した手段も異なる。

プレゼンテーション	視覚的情報と口頭の説明をうまくミックスし関心の薄い人にも興味をもってもらう
ポスターセッション	探究の全体像を示し、質問や意見をもらい、深く議論する場を創出する
Webサイト	探究の成果を不特定多数に広く公表する
演奏上演実演	意図、特徴等の資料を配布し、成果を演ずる
作品展	制作意図、制作過程等の資料とともに成果を展示する



どの場合もフィードバックを得る

活動を記録する

探究デジタルノート
写真、ビデオ、文章、リンク等が統合された記録
- 記載日、場所、対象（相手、資料名等）
- 活動や収集した内容
- 自分の考え（発見、疑問、次の課題など）

著作権を尊重する

引用の方法（例）
〇〇（2024）によれば、・・・・・・。
・・・・・・・・である（〇〇、2024）。
出典の記載（例）
著者名、タイトル、資料名、掲載ページ、発行年
著者名、タイトル、サイト名、URL、参照年月日

情報を整理・分析する

表や図を用いて、次に示す整理や分析を行う



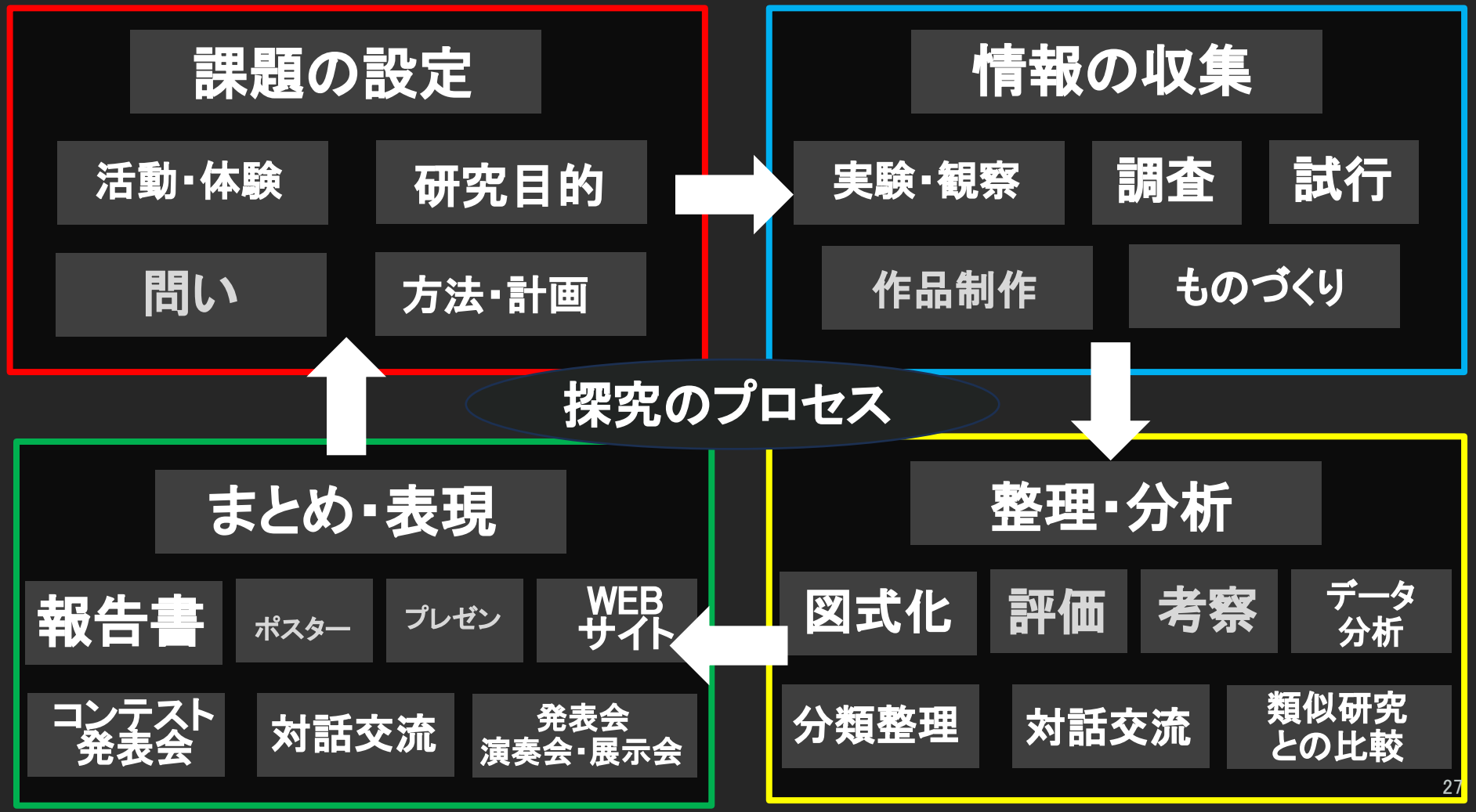
時間軸で考える（時系列・年代）	空間軸で考える（エリア・地域）	多面的に考える（多様な立場）	構造化する（比較・分類・関係付け）	視覚化する（グラフ・図）



探究論文として表現する

タイトル 氏名	目次	背景 目的	探究の方法	本論	結論	参考文献 謝辞

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.







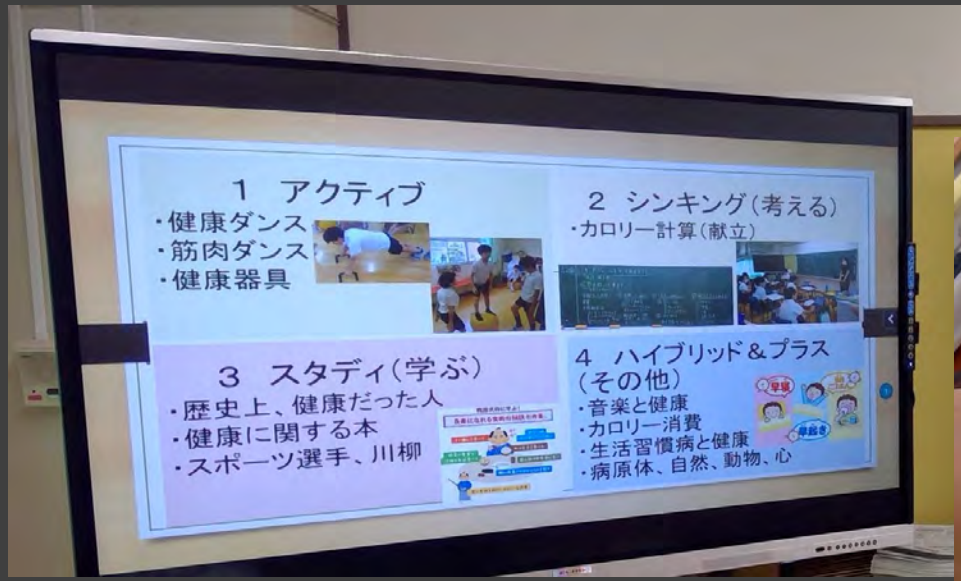


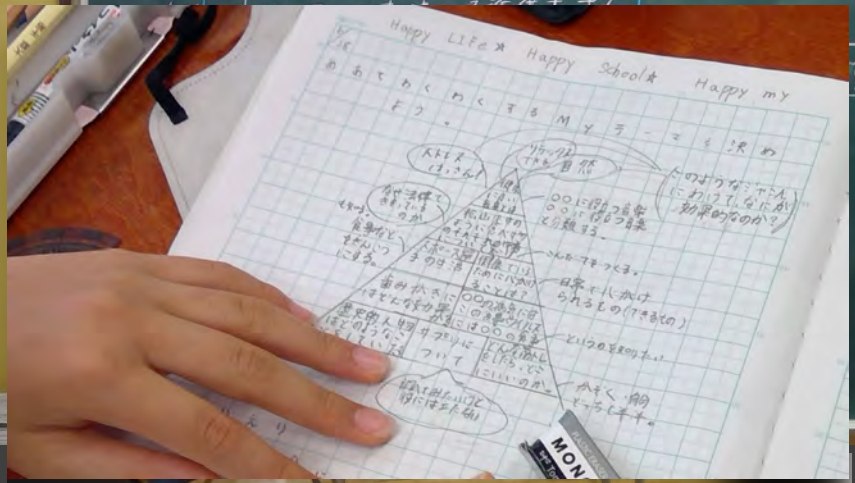
子ども一人ひとりが 主役

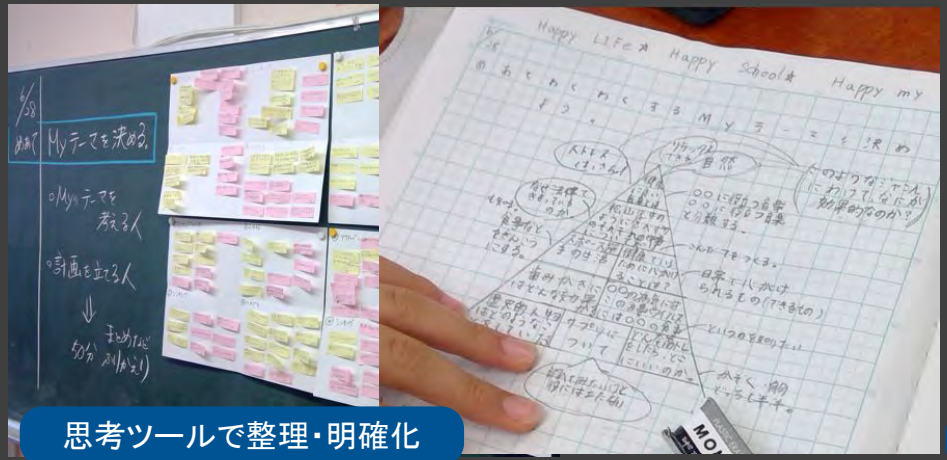
やってみたい！
ワクワク感から始まる
My探究



Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.







思考ツールで整理・明確化



対話を通した思考の言語化

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.













探究的な学びのプロセス

- Microsoft365の活用 -

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

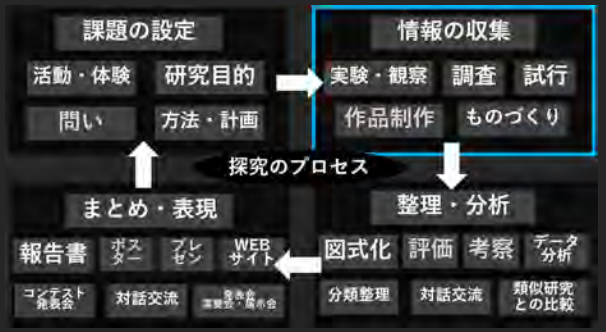


シブヤ未来科③　物価について考えよう。

調べたもの	昔	今
人参(三本)	174円	199円
ゼリー	200円	220円

	安全	楽しい	面白い	学び	合計	
クイズ	5	5	4	4	18	159円
ビンゴ	5	5	2	2	13	23円
脱出ゲーム	3	3	3	2	11	
地域めぐり	4	4	3	5	16	
スーパーボールすくい	4	4	3	2	13	
宝さがし	4	5	5	3	17	

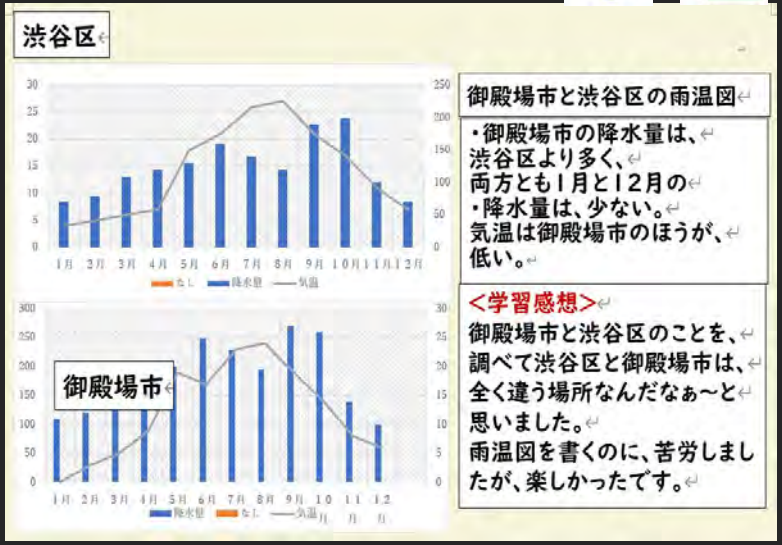
情報を収集・蓄積する場面



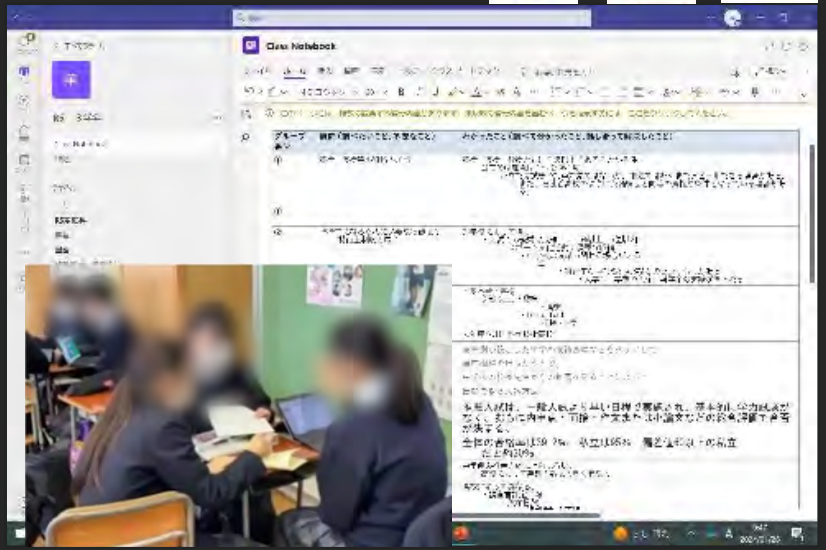
探究のプロセス　ー情報の収集ー

探究　×　Microsoft365

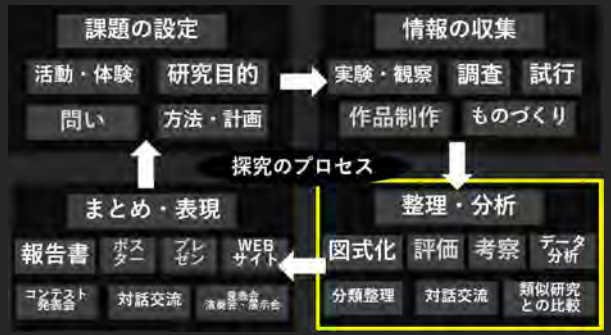
Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.



データを整理・分析、図式化する場面



考察や対話交流する場面



探究のプロセス　ー整理・分析ー

探究　×　Microsoft365

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

学校が探究に打ち込めるための 環境整備

◎　先生が「探究」の準備をするための時間の確保

・余剰時数の削減

・Teacher’s learning day （TLD)の設定（小：週1、中：月1）

・DXによる校務や会議の効率化、行事の精選

・部活動改革

◎　先生が自信をもって「探究」に取り組めるための支援

・校長会・担当者会・教育指導課訪問での研修や指導助言

・先進的な「探究」実践を行う学校への訪問や講師を招聘した研修の実施

・“Good Next”を引き出すHACHIアプリを活用した学習の振り返り

・教員向け「探究ハンドブック」、子供向け「探究リーフレット」の作成

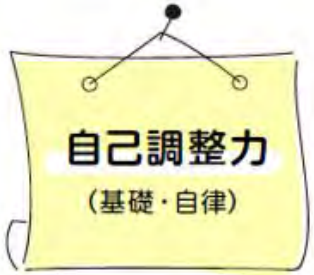
・教育委員会や企業による、各学校の探究カリキュラム作成支援

・地域・企業によるホンモノ体験

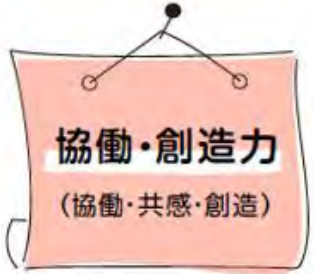
Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.


変える街。
Shibuya City
シブヤ未来科
探究ハンドブック
「未来の学校」
クラスを超えて
交流できるスペースね！
ラーニングコモンズ　イメージ図
※複製や転載を禁止いたします。
好きなこと
思いっきり学べる
探究ハンドブック
（教員向け）を作成
Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.
34

能力育成のための探究授業設計チェックリスト



- ☐ 児童生徒が、自分の興味関心や生活につながるものだと感じられるテーマ設定になっている
- ☐ さまざまなジャンルの物事・専門家に出会える機会を用意している
- ☐ 児童生徒が思考、活動、アウトプットなど各所でさまざまな選択肢を選べるようにしている
- ☐ 自己内省が進むような問いかけ、振り返りの機会を設けている



- ☐ 安心して意見を言えるような環境づくり、話し合いのルールを伝えている
- ☐ グループ活動の機会を複数回用意している
- ☐ 発表や自己表現の機会を設けている
- ☐ 児童生徒の理解度・進捗に応じて、柔軟に授業設計の変更を検討している



- ☐ 児童生徒が授業の途中で見直しをして試行錯誤できる余裕を設けている
- ☐ 小さなチャレンジを授業の中に定期的に取り入れている
- ☐ 目標達成まで逆算的にプロセスをイメージさせる工夫している
- ☐ 不安なこと、懸念点を相談できるような関係づくりをしている

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.



学びを変える　探究「シブヤ未来科」

241109_個別最適な学びの環境の実現に向けて
～教科学習と探究学習の一体的な充実を語る～

渋谷区教育委員会事務局教育指導課

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.


InspireHigh
Expand Your Horizons.
Inspire High, Inc.



InspireHigh

Expand Your Horizons.

世界とつながる、探究的な学びを、手軽に教室で。

世界中の創造力と 10代をつなぐ EdTechプログラム

※Inspire Highは、2024年度 経産省『働き方改革支援補助金2024』対象事業です。

インスパイア・ハイの3つの学習体験



世界の大人から刺激を受ける

Session

セッション



自分の問いを探究する

Project

プロジェクト



全国の10代100人の問いを表彰する

Inspired100

インスパイアード100

Session

世界とつながる体験を、誰でも、教室から。

普段出会えない、世界中で活躍するインスパイアリングな大人（ガイド）から
多様な生き方や価値観、仕事、社会課題に触れる体験を。



Session

生徒の主体性を引き出す4ステップ約40分のプログラム

ガイドからインスピレーションを得ながら、自分で思考し、考えや意見を表現。



Session

15カ国 約50の職業のガイドと一緒に学ぶ



科学者、国連職員、宇宙飛行士など、世界中で活躍する多様なガイドの生き方や価値観、仕事、社会課題に触れる体験を届けます。

学校の垣根を超えて全国の10代と考える



毎回出題される「答えのない問い」に挑戦することで自己理解/表現力を養い、全国の10代と意見を共有することで他者を知る心も育みます。

先生の負担を軽減する動画内ファシリテーター



再生ボタンを押すだけで、約40分 の授業運営が可能です。先生は生徒と一緒に考え、気づきを支援する「学びの伴走者」に徹すること ができます。

25年度追加予定セッション













Project

個人探究を、動画とデジタルの力でサポート

個人探究やテーマ探究でご活用いただける、探究サイクルに沿った進行支援ツール。
学習を進めていくと探究の取り組みがスライドに反映され、自動的に成果物が完成。



Projectの流れ



探究のプロセスをカバーした13単元

探究の説明負荷を軽減する13本の動画



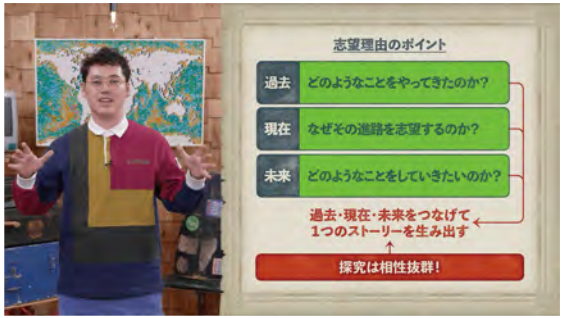
「問いを見つける」「仮説を立てる」など、探究のステップごとに考え方や手法のレクチャー動画があるため、先生の負荷を抑えて探究学習を実施できます。

自動でスライド形式の成果物が完成



ステップに沿って学習を進めると、入力内容がそのままスライドに反映され、探究の成果資料が完成します。資料のデザインや体裁よりも、中身に時間を割くことが可能です。

進路選択や年内入試に接続



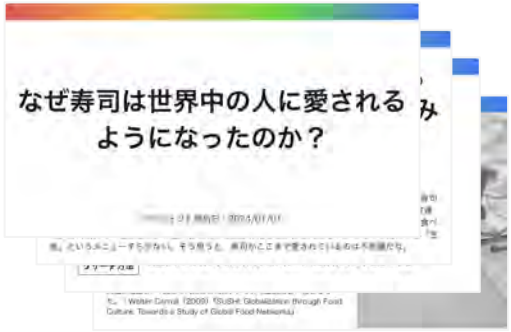
探究学習を振り返る中で、将来勉強したいことを考え、自分らしい進路を見つけていきます。探究と関連付けて志望理由を明確にできるため、年内入試にも役立ちます。

Inspired 100

全国の10代100人の問いを表彰

プロジェクトで作成した「自分だけの問い」スライドをそのままエントリー資料として使用可能。
集まった「自分にまっすぐな問い」は年鑑に収録してお届け。

Project で作成した「自分だけの問い」



100人の探究を年鑑に収録しお届け



年間活用イメージ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

社会課題を知る



自分だけの問いを探究する

問いを立てる



深める・行動する



まとめ・表現



Session

「セッション」で視野を世界規模へ
さまざまな社会課題を知る。

Project

自分の関心と社会課題を掛け合わせる探究を
「プロジェクト」を使って実施。

Inspired 100

これまでの内容をまとめ・発表。
「Inspired 100」 に応募することも。

導入実績校（一例）

広尾学園 中学校 高等学校
HIROO GAKUEN Junior & Senior High School

立命館中学校・高等学校

学校法人城北学園
城北中学校・高等学校

芝中学校 芝高等学校

日本大学第一中学・高等学校
Nihon University Daiichi Junior & Senior High School

学校法人 宇都宮海星学園
星の杜中学校・高等学校

近畿大学附属高等学校・中学校
KINDAI UNIVERSITY SENIOR & JUNIOR HIGH SCHOOL

東海大学菅生高等学校

立川女子高等学校

京都廣学館高等学校

学校法人白百合学園
盛岡白百合学園中学高等学校

日本大学明誠高等学校
NIHON UNIVERSITY MEISEI SENIOR HIGH SCHOOL

跡見学園中学校高等学校

埼玉県立浦和高等学校
-Saitama Prefectural Urawa High School-

学校法人 藤枝学園
藤枝順心 中学校 高等学校

sapporo shinyo
high school since 1958

学校法人 足立学園
足立学園中学校・高等学校

静岡英和女学院高等学校
Shizuoka Eiwa Girls' Senior High School

渋谷区



渋谷区は令和6年度から小中学校で午後の時間を「探究学習」へ。
生徒が自ら問いを見つけるきっかけづくりや、授業を行う教員への支援を行うため、
全公立中学校（8校）でInspire Highを導入し、探究学習の促進を目指す。



教育新聞

進報・2024-06-17

【渋谷区午後探究】無駄を問い直し、価値を考える 上原中学校

松井 聡美 教育新聞 報道記者



自分が捨てられないものについてウェブ上に書き込む生徒たち＝撮影：松井聡美

https://www.kyobun.co.jp/article/2024061703

教育新聞

進報・2024-07-19

【渋谷区午後探究】 進路や職業テーマに進めるマイ探究がスタート

松井 聡美 教育新聞 報道記者



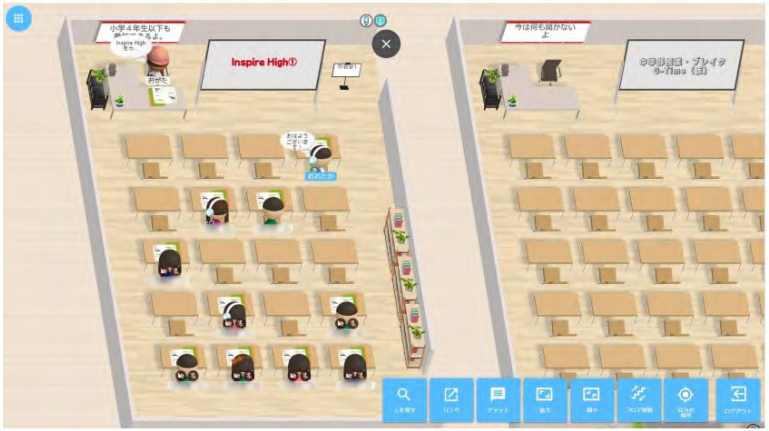
生徒の考えを引き出しながらアドバイスを送る伊藤指導教諭＝撮影：松井聡美

https://www.kyobun.co.jp/article/2024071903

さいたま市

さいたま市の「不登校等児童生徒支援センター（ Growth）」で、Inspire Highを活用した授業を実施。
自宅にいながら多様な大人の生き方や価値観に触れ、全国の同年代の考えを知り、意見交換をすることで、他者とのつながりや自己理解が深まることを目指す。

▼授業の様子。児童生徒はメタバース空間を活用したバーチャル教室で、 Inspire Highの授業に参加（Inspire High実施中はTeamsを使用）





熊本市



不登校生向けオンライン学習支援「フレンドリーオンライン」にて、子どもたちの世界を広げ、自分の未来を考えるプログラムとして Inspire Highを活用。
また、補助金を活用し市内の小中学校で試験導入実施。

▼メタバース空間でのイベントの様子。毎週水曜の「わくわく学習」プログラム内にて、 Inspire Highを活用した授業を実施。

マサイ族をテーマに「自分らしさ」について考える

次に生徒が案内されたのは「マサイの部屋」。ケニアのマサイ族の生活や文化がわかる写真が展示されています。

生徒たちは、今回のテーマである「自分らしさを考える」についてインスピレーションを得るため、Inspire Highのコンテンツ「マサイ族の長老と考える『アイデンティティってなんだろう？』」を視聴しました。生徒はリアクション機能（拍手や顔文字など）を介してメタバース空間上に表現。生徒の感情が視覚的にみえることはメタバースならではの雰囲気でした。

視聴後は生徒が各グループに分かれて、「"自分らしさ"を表すモノ／場所を3つ考える」というお題で考えてもらい、グループ間で発表を行いました。



https://www.ntt.com/business/lp/education-ict/introduce-our-case/006.html

長野県



個人と社会のウェルビーイングの実現に向け、 ICTを活用した探究的な学びを促進。 希望校に対して、Inspire Highの初年度の利用を県費負担にて活用いただく。
また、研修会やWWLコンソーシアム等でも連携。

補足）
・令和5年度までに、県内高校 10校・計3,000人以上の生徒がInspire Highを利用
・教科学習での探究学習実施の事例創出

▼教員の声
・普段の授業や生活では考えることができない問いを与えられるので、生徒の思考力を養うことができると思う。
・定期的にインスパイア・ハイを導入することで、探究学習が単調にならず違った角度からのアプローチになる。

▼生徒の反応
・自分の意見や考えを正解にとらわれずに自由に表出できることにより、安心して学習に臨むことができる。
・高校を超えて、同世代の意見や考えに触れることができ、授業では見せないような驚きの表情をすることがあります。

COMPASSと探究学習

未来を創る力を育む

Qubena



探究学習に関するこれまでの取り組み

2017

Qubena Academy：
“体験”を重視した探究プログラム





2018~2020

未来の教室実証事業：
アダプティブラーニングによる知識・技能の習得とSTEAM教育の実践



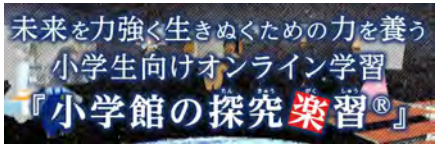
2021

STEAM Library：
水産資源の持続可能性×教科学習の活用



2023

小学館集英社プロダクションとの共同の探究プログラム：
未来を生きぬく力を養う小学生向けオンライン学習



自治体・企業様への教材開発：
高校生向けEXPO教育プログラム









新たな探究プログラムの提供を開始

Qubena（キュビナ） × ShoPro 小学館集英社プロダクション　共同開発の第一弾プログラム

国語における絵本をつくる探究学習プログラム

パートナー企業
日本マクドナルド



探究学習プログラムのコンセプト

プログラムの特長

教科単元との紐づけ

教科学習での学びが実社会でどのように生きているのかを理解することで、教科学習への取り組み意欲を高め、子どもたちの学びに向かう力を育みます。

探究に必要な力（思考・判断・表現力）を養う

探究学習プログラムの授業が終わったあとにも継続して自分自身の探究を続けられるように、探究に必要な力として思考の深め方、表現力としてのアウトプットの方法などを学びます。

社会に開かれた学び

実社会とのつながりを学ぶことで、子どもたちの世の中への興味関心や、自分自身の力で人生や社会をよりよくできるという実感を育みます。また、企業パートナーとの連携により、自治体・学校向けに無償で提供いたします。

第一弾プログラム

国語における絵本を作る探究プログラム

教科単元との紐づけ	探究に必要な力（思考・判断・表現力）	社会に開かれた学び
国語	事例調査・ストーリーライティング	パートナー：日本マクドナルド

対象学年：小学3年生～中学3年生

Q.

学校で探究学習を実施するにあたり大変だったことを教えてください

Q.
実際に探究学習を取り組むことによって
先生/子供たちにどのような変化がありましたか？

複線型の授業



子ども主体の授業
- どのツールで学ぶか
- どれくらいのペースで学ぶか
- 誰と学ぶか

を子ども自ら選択

Before

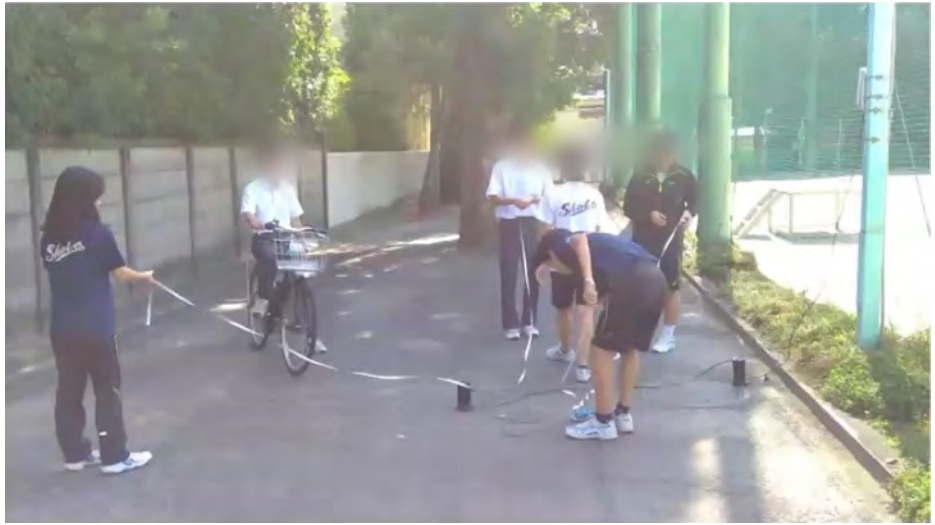
Qubena（理科・授業場面）



○　Qubenaを１授業、または、小単元ごとに「定着度確認テスト」として実施
・生徒は、自身の学習定着状況を把握、つまづきの見られた学習にさかのぼって演習
・教員は、生徒の学習定着状況を把握し、一人ひとりに合った助言・支援を行う

→基礎・基本の定着の効率化・時間の短縮化により、発展的な学習の時間の創出





Before

Qubena（数学・授業場面）



After



Qubena（数学・授業_展開場面）





○　Qubenaを軸とした「自由進度学習」を展開
・複線型の授業時間が増加
・デジタル教材を選択する子どもが増加

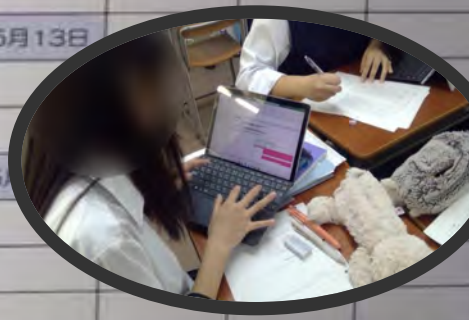
※WG定例MGを重ねたことで、教員のデジタル教材への理解度の向上し、教材のデジタル化が進んだ。

After

Qubena（数学・授業_章末時）

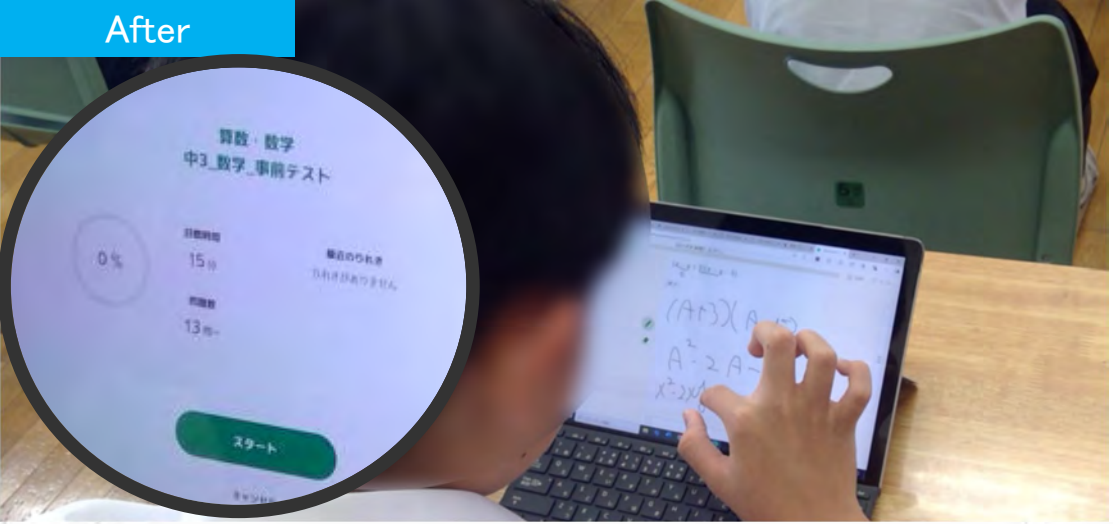
チェックテスト1
No.2 展開の公式0
No.3 展開の公式1
No.4 展開の公式2・3
No.5 展開の公式4
チェックテスト2
No.6 置き換えの展開
チェックテスト3
No.7 共通因数でくくる
No.8 因数分解の公式1
チェックテスト4
No.9 因数分解の公式2～4
No.10 因数分解の公式の使い分け
チェックテスト5
No.11 いろいろな式の因数分解
チェックテスト6
No.12 くふうした数の計算
チェックテスト7
No.13 数の性質を文字で表す
No.14 数の性質の証明

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4月16日	4月22日	5月13日	5月13日	5月13日				
	4月16日	**4月25日**	5月13日						
	4月16日	4月22日	4月26日	5月13日					
	4月16日	4月22日	**4月25日**	5月8日	5月10日	5月13日			
	4月16日								
	4月16日	4月23日	4月26日						
	4月16日	4月22日	**4月25日**	4月26日	5月10日	5			
	4月16日	**4月25日**							
	4月16日	4月22日	**4月25日**	4月26日	5月10日				
	4月16日	**4月25日**							
	4月16日	4月22日	4月23日	**4月25日**	4月26日	5月8日	5月8日	5月10日	5月13日
	4月25日								
	4月16日	4月22日	**4月25日**	4月26日	4月30日	5月10日	5月10日	5月13日	
	4月16日	4月22日	4月22日	4月23日	4月23日	4月30日	5月8日	5月10日	5月13日



○ Qubenaを軸とした「自由進度学習」を展開
・授業_章末で「チェックテスト」を実施
・生徒は進捗状況をexcelで入力
・生徒は「チェックテスト」の定着状況により、次時の学習方法を調整
・教員は進捗表等で生徒の学習進度・定着状況を把握し、必要な支援・助言を行う

After



Qubena（数学・授業外）

○　朝学習や「すき間」の時間で実施
・上原中では定期考査と合わせて実施

※授業や授業以外の時間における活用を促したことで、生徒自らQubenaに取り組む姿が多く見られるようになった。

“途中式が端末に書き込めるので、紙の問題集と同じ感覚でできるのがよい“

上原中_数学2年		2-1		2-2		2-3	
出題順	問題名	解答した生徒数	正答率	解答した生徒数	正答率	解答した生徒数	正答率
1	中2 教科書 単元確認問題 > P10-20｜式の計算① > 基本問題 > 【計算】5(4a-b)-3(a-2b)	31/38人	77%	35/39人	70%	31/37人	87%
2	中2 教科書 単元確認問題 > P10-20｜式の計算① > 標準問題 > 【計算】(0.9x-0.8y)-(0.2x-0.5y)	31/38人	68%	35/39人	69%	31/37人	64%
3	中2 教科書 単元確認問題 > P10-29｜式の計算② > 基本問題 > 【式の値】20x^2y÷15x×6y	31/38人	51%	33/39人	21%	31/37人	64%
4	中2 教科書 単元確認問題 > P10-29｜式の計算② > 標準問題 > 【計算】16a^2b÷2a÷4b	30/38人	77%	33/39人	75%	31/37人	87%
5	中2 教科書 単元確認問題 > P10-29｜式の計算② > 標準問題 > 【計算】(6x)^2÷4/3x^2×1/9xy	30/38人	76%	33/39人	36%	31/37人	64%
6	中2 教科書 単元確認問題 > P36-48｜連立方程式① > 基本問題 > 【計算】x+y=8，3x-y=4	30/38人	90%	33/39人	69%	31/37人	80%
7	中2 教科書 単元確認問題 > P36-48｜連立方程式① > 標準問題 > 【計算】y=-x+2，-x=y/2	29/38人	45%	33/39人	39%	30/37人	56%
8	中2 教科書 単元確認問題 > P36-53｜連立方程式② > 基本問題 > 【文章題】学校までの距離① 立式	29/38人	48%	33/39人	48%	30/37人	50%
9	中2 教科書 単元確認問題 > P36-53｜連立方程式② > 基本問題 > 【文章題】学校までの距離② 計算	26/38人	58%	32/39人	37%	27/37人	59%
10	中2 教科書 単元確認問題 > P58-74｜1次関数① > 基本問題 > 【文章題】文房具の問題① 関係式を求め	26/38人	88%	31/39人	74%	24/37人	70%
11	中2 教科書 単元確認問題 > P58-74｜1次関数① > 基本問題 > 【作図】y=x+1	24/38人	79%	28/39人	42%	24/37人	62%
12	中2 教科書 単元確認問題 > P58-89｜1次関数② > 基本問題 > 【作図】y=5x-6	23/38人	78%	28/39人	50%	20/37人	70%
13	中2 教科書 単元確認問題 > P58-89｜1次関数② > 基本問題 > 【グラフ】2x-y=-2	22/38人	55%	25/39人	48%	20/37人	60%
14	中2 教科書 単元確認問題 > P58-89｜1次関数② > 標準問題 > 【作図】-6x+3y+9=0	17/38人	53%	23/39人	21%	18/37人	50%
15	中2 教科書 単元確認問題 > P58-89｜1次関数② > 標準問題 > 【作図】-2/3x+1/6y=1	17/38人	47%	23/39人	8%	16/37人	37%

Before

デジタル一斉指導・単線型授業

Inspire high（道徳授業）



After

Inspire high（道徳授業）

○　デジタルを活用した個別最適・協働的な学び
○　複線型授業
・「自主・自律」に関するセッションを複数提示
・生徒は関心のあるセッションを選択し学習
・異なるセッション同士でグループを形成。互いの考えを交流し、テーマに関するグループとしての意見を生み出す

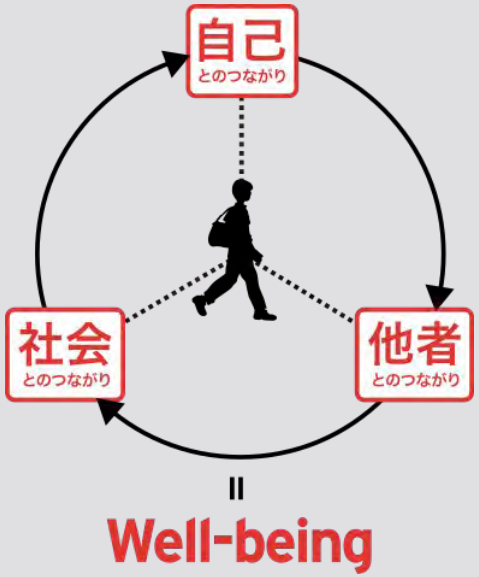


Inspire high（教員研修）

○　松濤中では、探究学習（My探究）の活用に向けた校内全体研修を実施
→WGメンバー以外の教員の活用を促進



「ウェルビーイングアセスメント」で学びの効果を可視化



独自に「ウェルビーイングアセスメント」を開発し、定期的に生徒に回答いただくことで、その学び効果を可視化し、先生方にご共有しています。

1.自己とのつながり＝Self-Connection
深い自己理解に基づいた、自分なりの価値観を持っている

2.他者とのつながり＝Interpersonal Connection
異なる他者と競争するのではなく共感性でつながっている

3.社会とのつながり＝Societal Connection
自分はこの社会とつながり、変化を生み出せると考えている

本アセスメントは、OECDやWHOを含む国内外の先行研究や事例を参照しており、監修には日本における幸福学の第一人者である、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授の前野隆司氏が務めています。

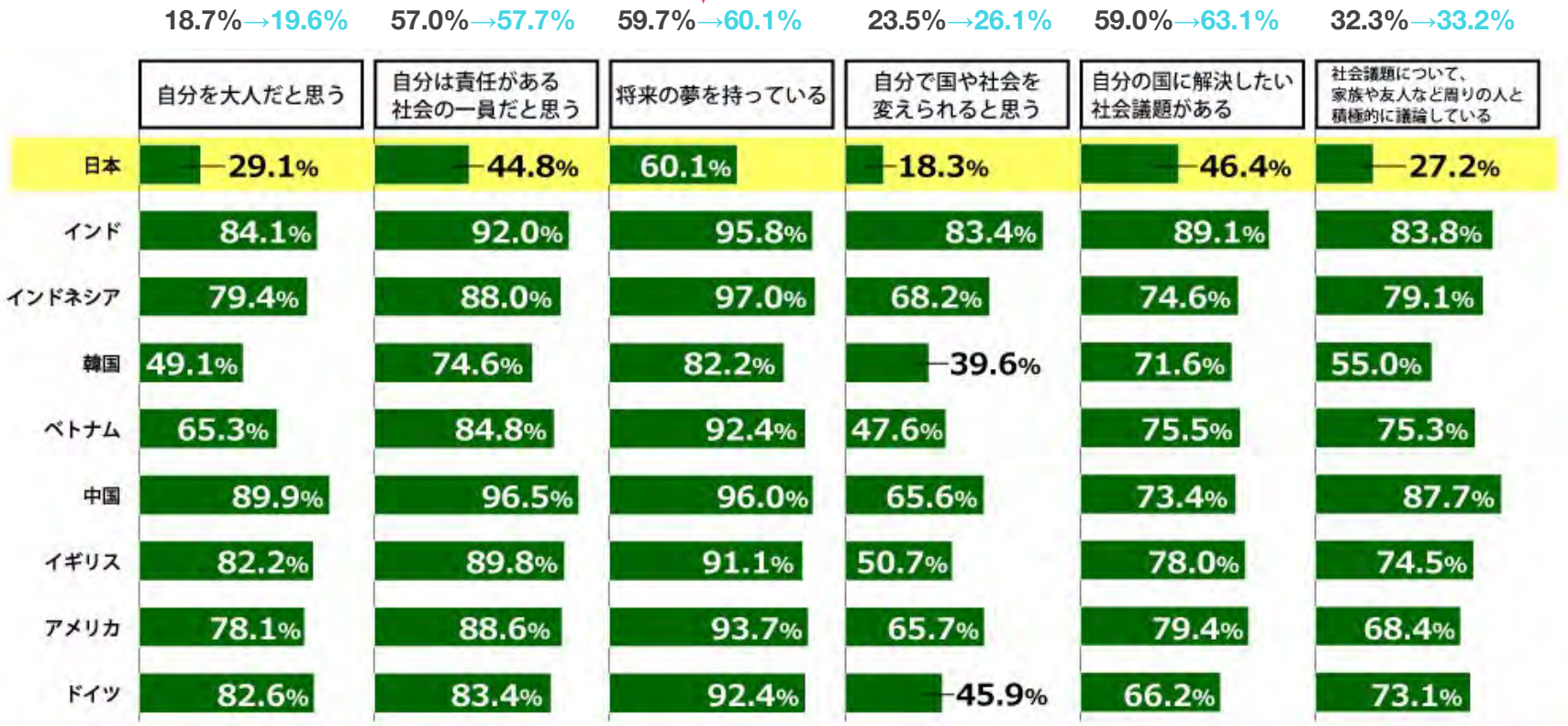


前野隆司

1984年東工大卒業、1986年同大学修士課程修了。キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授などを経て、現在慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教授。2024年4月武蔵野大学ウェルビーイング学部長就任予定。ウェルビーイング学会会長。博士（工学）。著書に、『ウェルビーイング』（2022年）、『幸せのメカニズム』（2014年）、『脳はなぜ「心」を作ったのか』（筑摩書房，2004年）など多数。

Inspire Highを体験した生徒の社会性の伸び

全国3500人以上の中高生を対象に
Inspire Highを2コマで実施しただけで、６項目全てのスコアが上昇！



日本財団「18歳意識調査」第20回 テーマ:「国や社会に対する意識」（ 9カ国調査）

「自己の在り方・生き方」への変化

Aさんの変化
神奈川県、公立高校



音楽は好きだが、
音楽の道に進む自信が
あるわけではない…

InspireHigh
Expand Your Horizons.

◎音楽以外のことも知りたくなった
◎新しい世界（可能性）を見たくなった
◎本を読む習慣が身についた
◎授業も知識だけでなく背景まで知りたくなった

Bさんの変化
三重県、私立高校



なんとなく理系志望で
とりあえず安定した
職業がいいな…

InspireHigh
Expand Your Horizons.

◎確実な道よりやりたいことを重視したい！
◎「ひとの一生」について考えたくなった
◎哲学科に進学することを決めた
◎入試面接でも自信を持って志望理由を話せた

Cさんの変化
東京都、私立高校



身近な職業しか知らず
特に就きたい仕事も
イメージできない…

InspireHigh
Expand Your Horizons.

◎職業や仕事の幅広さを認識できた
◎「ソーシャルビジネス」という概念を知れた
◎ボランティアに積極的に参加するようになった
◎社会福祉分野の学部を受験予定

※本資料の内容の全部または一部を無断で複製・転載・送信・複写することを禁じます

体験した生徒の変化



平和活動家
メアリーさんの
セッションを見て
インスパイア される！



海外旅行で貧困層の人々の現状を目の当たりにする。
以来自分にできることは何か考えていた。



メアリーさんのセッションを鑑賞し、**外国人として広島から平和活動を行う姿にインスパイア**される。



他のセッションに参加しては**家族と対話を重ねたり、大学生向けのイベントに参加**したりしている。



海外ボランティアを重ねながら途上国に住む子供の貧困問題を解決したい。

体験した生徒の変化



金融スペシャリスト
ヴァイオラさんの
セッションを見て
インスパイア される！



家族の影響を受けて経済に
強い関心を持っていた。



ヴァイオラさんのセッションを通して
より**一層経済を深く学びたいと**
感じた。



ESGについて
勉強を進めている。



経済を通して環境問題を
解決したい。

Q.

（事前質問）探究学習の評価はどうしていますか？

シブヤ未来科の目標（案）Ver. 6

学校が設定した探究課題（大テーマ）に基づいて、児童生徒が解決したいこと（小テーマ）を起点に、「シブヤ」という実地域・実社会を探究のフィールドとして、探究的な見方・考え方を働かせ、探究活動（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を単元を通して複数回繰り返す。これらの活動を通して、シブヤ未来科が目指す“課題解決力（自己調整力、協調・創造力、挑戦力）”を高めること」、及び「持続可能なエコシステム（地域や企業、大学等の人的・物的資源のつながり）を活用し実地域・実社会と自分とのつながりや自己の生き方を考えたり明確にしたりすること」、さらに「課題解決・社会参画のための具体的なアクションを起こすこと」ができるよう、次のような資質・能力を育成する。

1　評価規準

（1）知識及び技能　【自己調整力、協働・創造力、挑戦力】

・探究的な学習の過程において課題の解決に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、協働的な学習を通して多様な考えに触れ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを主体的に理解するようにする。

Copyright © 2024 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

探究「シブヤ未来科」で育む資質・能力に関する評価基準（案）（児童生徒向け）　2024.10.17 Ver.3

		A	B	C
自己調整力 （基礎・自律） 自ら考え判断して学び続けていく	知	① 学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力を理解し達成しようと実践している に探究の課題（小テーマ）を設定し、自ら探究的な学習の過程に取り組んでいる	① 学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力を理解している 習の過程に取り組んでいる	① 学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力の理解が不十分である ある
	思	③ 課題解決のために必要となる専門家との交流や体験を自ら企画・実践する機会を設け、探究活動を進めている ④ 大テーマに関する背景や問題点をよく理解した上で、探究の過程において、「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、自己選択している	③ 専門家等に出会ったり、実際に体験したりする機会を活用して探究を進めている ④ 探究の過程において、「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、自己選択している	③ 専門家等に出会ったり、実際に体験したりする機会を得ているが、探究を進める上で十分に活用できていない ④ 探究の過程において、「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、自己選択が不十分である
	態	⑤ 振り返りを通して、自己内省し、自己改善につながる活動をしようとしている	⑤ 振り返りを通して、自己内省している	⑤ 振り返りをしているが、自己内省にはつながっていない
協働・創造力 （協働・共感・創造） 多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す	知 思 態	学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力を理解し達成しようと実践している	学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力を理解している	学校が定めた目標、内容、探究課題及び単元を通して身に付けるべき力の理解が不十分である
挑戦力 （挑戦） 自分が思い描く未来を実現していく	知	① 自ら課題解決の途中で、目標や解決方法を見直している	① 友達、教師や専門家等のアドバイスを受け、課題解決の途中で、目標や解決方法を見直している	① 課題解決の途中で、目標や解決方法を見直そうとしていない
	思	② 自ら課題解決のために、学習環境や解決方法を自己選択している	② 友達、教師や専門家等のアドバイスを受け、課題解決のために、学習環境や解決方法を自己選択している	② 課題解決のために、学習環境や解決方法を自己選択していない
	態	③ 自ら目標達成まで逆算的にプロセスをイメージしている ④ 課題解決において、不安や懸念点を明確にして自ら相談できている ⑤ 探究的な学習や実生活を通して、社会参画しようとしている	③ 友達、教師や専門家等のアドバイスを受け、目標達成まで逆算的にプロセスをイメージしている ④ 課題解決において、漠然とした不安や懸念点を相談できている ⑤ 探究的な学習を通して、社会参画しようと意識している	③ 目標達成まで逆算的にプロセスをイメージしていない ④ 課題解決において、不安や懸念点を相談できていない ⑤ 探究的な学習を通して、社会参画しようと意識していない

Copyright © 2024 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

探究「シブヤ未来科」で育む資質・能力に関する評価基準（案）（教員向け・授業設計）　2024 10 18 Ver.6

		A	B	C
自己調整力 （基礎・自律） 自ら考え判断して学び続けていく	知	① 学校が定めた総合的な学習の時間の目標や探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて育成を目指す資質・能力を適切に定めている	① 学校が定めた総合的な学習の時間の目標や探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて単元を通して育成を目指す資質・能力を定めている	① 探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて育成を目指す資質・能力を定めている
	思	② 各単元において、定められた資質・能力を踏まえながら、効果を理解し、主体的に課題（小テーマ）の設定ができるようにしたり、自ら探究の学習の過程に取り組ませたりしている ③ 各探究のプロセスにおいて、課題解決のために必要に応じて専門家等に出会えたり、体験したりできる機会を単元の目標に応じて用意している ④ 各単元において、探究を進めるために、「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、各探究のプロセスについて、自己選択できるようにしている	② 定められた資質・能力を踏まえながら、主体的に課題（小テーマ）の設定ができるようにしたり、自ら探究の学習の過程に取り組ませたりしている ③ 課題解決のために必要に応じて専門家等に出会えたり、体験したりできる機会を用意している ④ 探究を進めるために、「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、自己選択できるようにしている	② 課題（小テーマ）の設定ができるようにしている ③ 専門家等に出会えたり、体験したりできる機会を用意している ④ 「課題設定や整理・分析の方法、探究するための環境等」について、選択できるものがある
	態	⑤ 各単元において、自己内省が進むような問いかけ、振り返りの機会を設けている	⑤ 自己内省が進むような問いかけ、振り返りの機会を設けている	⑤ 振り返りの機会を設けている
協働・創造力 （協働・共感・創造） 多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す	知	学校が定めた総合的な学習の時間の目標や探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて育成を目指す資質・能力を適切に定めている	学校が定めた総合的な学習の時間の目標や探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて単元を通して育成を目指す資質・能力を定めている	探究課題（大テーマ）を念頭に、発達段階に応じて育成を目指す資質・能力を定めている
	思			
	態			
挑戦力 （挑戦） 自分が思い描く未来を実現していく	知			
	思	② 児童生徒が自ら課題解決できるようにするために、学習環境や解決方法を自己選択できるようにしている	② 児童生徒が友達、教師や専門家等のアドバイスを受けて課題解決するための学習環境や解決方法を自己選択できるようにしている	② 課題解決するための学習環境や解決方法を自己選択できるような機会を与えていない
	態	③ 目標達成まで逆算的にプロセスを主体的にイメージさせる工夫している ④ 探究の時間に限らず、不安なこと、懸念点を相談できるような関係づくりをしている ⑤ 児童生徒が、探究的な学習や実生活を通して、社会参画しようとする機会を与えている	③ 目標達成まで逆算的にプロセスをイメージさせる工夫している ④ 不安なこと、懸念点を相談できるような関係づくりをしている ⑤ 児童生徒が、探究的な学習を通して、社会参画しようとする機会を与えている	③ 目標達成まで逆算的にプロセスをイメージできるよう提示している ④ 不安なこと、懸念点を相談できるよう声掛けをしている ⑤ 児童生徒が、探究的な学習を通して、社会参画しようとする機会を与えていない

Copyright © 2024 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

Q.

探究学習を推し進めた先に、どのような学びの環境の実現を目指していますか？

学校×行政×PTA×地域・企業連携　「探究シブヤ未来科」エコシステム

社会連携・地域理解促進を意図した情報発信

区立小中学校

企業・学校
コーディネート支援

コンテンツ提供
費用負担

一般社団法人シブタン

【主な業務内容】
✔学校現場へのリソースコーディネート支援
・各地区・区立小中学校に支援コーディネーター配置
・地域リソースの発掘・活用サポート
（連携企業の確保、協賛金等の受入れ、企業からの一次受け窓口、提案内容精査、反社チェック、企業プログラム提供に伴う費用負担）
✔保護者・社会連携を進める学習発表会支援

発起人：
・元小学校PTA連合会会長
・R6小学校PTA連合会会長
・区立小学校PTA共同代表

経産省　令和6年度「未来の教室」実証事業採択

学校支援

伴走支援(調査研究)
児童生徒のニーズに即したカリキュラム作りの伴走(大学生の授業支援)

渋谷区 Shibuya City

探究支援業務
受託事業者

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

Barbara Pool

企業連携ポータルサイト
R6実装予定

【R6重点支援】
本町学園小中
神南小・千駄谷小
上原中・広尾中

コンテンツ提供

コンテンツ提案
（協賛・協力金）



【R6重点支援】
本町学園中
神宮前小・鉢山中

ポータル登録
（連携提案）

連携依頼

企業・地域団体

Copyright © Shibuya City Office All Rights Reserved.

これまでとこれから

Inspire Highが促進させたい世界

これまで
Society3.0



教育のゴール
「優秀」な人材をたくさん育てる

大切なこと
画一的なキャリア像、
評価指標、価値観の共有

キーワード
学歴・年収
偏差値

最近
Society4.0



教育のゴール
世界を変えるイノベーターを輩出する

大切なこと
学校と社会を接続し、
挑戦者数の最大化

キーワード
グローバルリーダー
起業家教育

これから
Society5.0

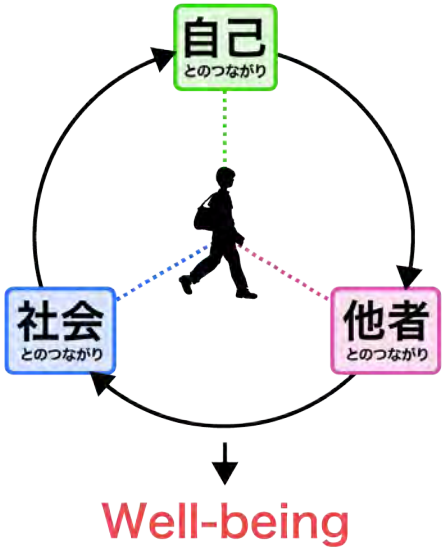


教育のゴール
1人ひとりの充実した生の獲得を支援する

大切なこと
深い自己理解に基づく自己充足と
他者理解（寛容）の両立

キーワード
ウェルビーイング
多様性・包摂性

Inspire Highの学びの目的は 一人ひとりのウェルビーイング



文部科学省が令和5年6月に発表した教育振興基本計画のコンセプトの中核に据えられた「ウェルビーイング」。

Inspire Highは、特に以下の 3点が高い次元にある場合にウェルビーイングな状態と考え、
生徒一人ひとりの主体性を育み『自分らしく生きる力』を養うためのカリキュラムを開発。

1.自己とのつながり =Self-Connection
深い自己理解に基づいた、自分なりの価値観を持っている

2.他者とのつながり =Interpersonal Connection
異なる他者と競争するのではなく共感性でつながっている

3.社会とのつながり =Societal Connection
自分はこの社会とつながり、変化を生み出せると考えている

「ウェルビーイングアセスメント」を開発し、学びの効果を可視化

Q.
最後に、これから探究学習を始めようと検討している皆さんへのメッセージをお願いします！